

日本心エコー図学会 教育委員会
地方における小規模講習会に関する報告

2016.01.25

三重大学、福島県につづく本年度第3回ハンズオンセミナーを10月17日（土曜日）筑波大学で開催したので報告する。今回の講習会も昨年同様 MSD 株式会社と教育委員会との共催で開催した。

1) 概容は以下の通り。

セミナー名：IBARAKI ECHO HANDS ON TRAINING SEMINAR

共催： 日本心エコー図学会 教育委員会、MSD 株式会社

後援： 東芝メディカルシステムズ株式会社

GE ヘルスケア・ジャパン株式会社

日立アロカメディカル株式会社

企画： 日本心エコー図学会 教育委員会

事務担当：MSD 株式会社（会の告知、参加者募集を含む）

日時： 2015年10月17日（土） 10：00 ～ 17：00

場所： 筑波大学附属病院 地域医療システム研究棟 高度医療技術シミュレーションラボ

対象： 茨城県内の初期研修医

参加者： 定員30名に対し、30名の申し込みあり全員参加に決定。当日参加30名（出席率100%、初期研修医 1年目21名、2年目9名）。

内容： 初心者を対象とした心エコー図法の講義とハンズオン

エコー装置：6台（エコーメーカー3社のご厚意により無料貸し出し）

被検者： 健常者6名

2) 予算について

本セミナーの予算はMSD 株式会社から支出されており、参加者からの参加費徴収はない。

講師に対してはMSD 株式会社の社内規則に沿った講師料が支払われた。また、茨城県以外からの講師に対して交通・宿泊費が支払われた。

3) プログラム

過去の福島県での講習会と同様のプログラムを踏襲した。2つのセッションにわけ、午前中は基本的な内容として、15分程度の講義とそれに引き続きハンズオンを行った。午後はより臨床的な内容とし、講義の後、救急外来で使う場合を想定してハンズオンを行った。

4) 指導者について

講義は教育委員会から1名、筑波大学の評議員2名、同じく日本超音波医学会専門医2名、同じく心エコー図学会認定専門技師2名が担当した。

ハンズオンは6グループで、1グループあたり参加者5または6名に対して、指導者1名の体制とした。

5) 参加者からのアンケート結果について（詳細は別紙参照）

日常で心エコーを行っている受講者は皆無であった。概ね好評であり、1/3程度の受講者からは難しいとの意見が寄せられた。

座学の時間を短縮し、昨年実習時間が短いとの返答が約50%あったが今回は40%に若干減少した。

6) 参加者からの感想（代表例を抜粋）

- 心エコーのあてる数が多くてとても楽しかった！コツを教えてもらえると病院でやる時と全然ちがいます！！ありがとうございました！とても勉強になりました。
- 講義としてはやはり循環器向けの少し難しい内容だが、救急外来向けの講義もあり満足だった。
- 実習時間がたっぷりあってありがたかったです。実習中に生じた疑問を聞く時間ももっとあれば良かったと思いました。
- ポイントがまとまっていて分かりやすかったです。E/A,E/E'が、難しかったです。
- 機材の取り扱いの説明があればより良かったです。
- 研修医なのでもう少し基本的事項に時間をかけた方が良いと思う。

7) まとめ

- 本講習会は今回もMSD株式会社との共催で行われた。
- 小規模講習会もノウハウが蓄積され、2年目の開催で初回開催よりも順調な運営ができ、受講生からの評価も改善された。
- 特に不満が多かった実習時間の短さを数分ではあるが拡大したことがある程度評価されている。

（文責：筑波大学 瀬尾 由広）